

# 目 次

会長挨拶	会長 五十嵐俊弘	2
報告書について	事業部会長 平岩 誠      実行委員長 尾形直樹	3
水源地をきれいにするキャンペーン及びエコクラブ探検隊	宮城県管工業協同組合青年部連絡協議会	4
「水源地をきれいにするキャンペーン」荒川河川敷公園清掃活動	福島地区管工事協同組合青年部	6
第5回ゴミ清掃ボランティア活動	東京都管工事工業協同組合青年部長協議会	8
不法投棄撲滅クリーンキャンペーン	川崎市管工事業協同組合青年部会	10
水源地交流事業	名古屋市指定水道工事店協同組合青年部会	12
「エコ倶楽部探検隊」2006	和歌山市管工事業協同組合青年部	14
石屋川クリーンキャンペーン	神戸市管工事業協同組合青年部会	16
「第7回水源地清掃」及び「第4回こどもエコクラブ探検隊」	岡山市管工設備協同組合青年部	18
高梁川流域一斉清掃2006	協同組合 倉敷市管事業協会青年部会	20
熊野水源池クリーン作戦	福山管工事協同組合青年部	22
「太田川源流の森」森林保全活動	広島市指定上下水道工事業協同組合青年部会	24
水源地ボランティア清掃	高松市上下水道工事業協同組合青年部会	26
水源地をきれいにするキャンペーン&エコ倶楽部探検隊	高知市管工事設備業協同組合若葉会	28
植樹事業	大分市管工事協同組合青年部会	30
全国統一アンケート結果		32

## 「セカンドステージ / 様々な意識がある中での新たなステップ」



全国管工事業協同組合連合会青年部協議会  
会長 五十嵐 俊 弘

地球に営む生物にとって、欠かすことが出来ない大切な「水」。その水を生業とする我々は、この限りある資源の大切さを如何に伝え、又、次世代を担う未来ある子供達の為にどのような取組みをしていけばよいのか？を考えた時、恥ずかしながら明確な答えを出すことが未だ出来ておりません。

行政が主体となり、豊かで美味しい水に恵まれているこの国において、我々水道事業者は行政とエンドユーザーとのパイプラインというポジションで日々の業務をこなしておりますが、その我々の最大の武器は、全国に広がるネットワーク網と軽快なフットワークを持ち合わせていることです。

環境保全のことを真剣に考え、何か出来るところから始めようと立ち上げた「環境問題研究事業 / 水源地クリーンキャンペーン・エコクラブ探検隊」も今年で9年目を数え、全国各地で様々な取組みがなされている中、今年度は「水」に対しどのように考え、そしてどのようなイメージを抱いているのかというアンケート調査を実施させて頂きました。

地球環境の変化、人間社会の変革、単に環境問題だけではなく、循環型社会の構築による過剰な浪費の抑制および省エネルギー化の促進も、重大な課題であります。

この貴重なアンケート結果が、これまでとは違った視点、又、新たな試みのヒントとなる源であり、青年部らしいアイデア溢れる事業へと構築されていくものに繋がることと期待をしております。

わが国では蛇口を捻れば当たり前のように水が出てきますが、この水から受ける様々な恩恵を忘れることなく、改めて限りある資源であることを再認識し、これからも水に対する特別な想いを胸に、水の大切さを唱えながら、環境問題に寄与する様々な活動を全国の会員と共に思考を凝らし、展開して参りたいと思います。

平成19年 5月

# 報告書について

全国管工事業協同組合連合会青年部協議会

事業部会長 平 岩 誠

水源地クリーンキャンペーン・エコクラブ探検隊

実行委員長 尾 形 直 樹

平成10年度から続けてきた環境問題研究事業『水源地クリーンキャンペーン・エコクラブ探検隊』も今年度で9年目となりました。当協議会も平成18年で10周年を迎え、同年7月には創立10周年記念式典を行いました。その際「世界の水道～守ろう！わたし達の水源と水環境」をご講演頂いた、海賀信好先生から本事業へのアドバイスとして、「水源地クリーンキャンペーン活動で定点観察を、子から孫へ、記録を残す」というテーマを与えていただきました。その先生の言葉に答えるべく、今年もこのように各単組の活動を報告書にまとめ、記録として次の世代に残したいと思います。特に、今回初の試みとして全国統一アンケートを実施し、「普段飲用する水」についてや「水資源」に対しての意識調査を行いました。そのアンケートの結果は本報告書にも掲載しましたが、このアンケートの結果も水に対する意識の定点観察として、次世代に記録を残していきたいと考えます。

さて、今年度の本事業は全国で14単組の参加を得、総勢878名の方々に活動していただきました。各単組の報告書にあるように、年々活動内容も充実したものとなり、各地域における関係行政や関係団体、地域住民と一体となった「水ネットワーク」の構築ができていると確信します。そして、水環境・自然環境に実際に触れることにより、親から子へ環境保全の重要性を十分伝えていると思いますし、ここに「エコクラブ探検隊」の意義を見出すことができます。

このように、青年部会員が水に携わる者として、将来を担う子供たちに水資源の大切さをわかりやすく伝えていくことが重要であり、我々の使命ではないでしょうか。また、それを実行することが、「環境を大切にできる人間」の育成につながるのではないかと考えます。そのためにも、この事業の推進に益々努力していきたいと思えます。

来年度については、海賀先生のテーマである「定点観察」について議論を交わし、どのようにバージョンアップさせていくか考え、全国統一アンケートについては参加者に対するアンケート実施率を上げ、アンケートの内容も検討していきたいと考えます。

最後に、今年度も本事業実施に際しご理解及びご協力を頂いた各単組の青年部の皆さんに感謝申し上げます。